

会場へ出かけてゆく途中、横なぐりの豪雨である。合懐の天気だなど、車の窓から往來の人々を眺めて眉をひそめた。

会場で、係りの人に、「この雨では誰も来ないでしょうね」というと「それに、今日は大抵の幼稚園が終了の日で、先生方はお忙しいでしょう」という。

時間になつても、一人も見えない。独り応答かなと思つてゐると、一人來られた。

この人と差し向ひ応答も亦大によしと思ひながら、講堂へはいつてゆくと、また一人來られた。

「この天気によく來られましたね。きょうこそほんとうの応答研究会ができそうです。さあ、もつとこちらの椅子にいらつしやい」と、挨拶しているとつゞいて二人少し遅れてまた一人。私は一人々々を立つて迎えて、総数五人と卓を囲んだ。外はまだ雨がはげしく降りつゞけている。

一人々々尋ねてみると、いづれも揃つてキリスト教主義の幼稚園である。問題は自ら宗教教育中心の研究会になつた。

「狭義の宗教教育と、宗教性の涵養」つゞいては、

「宗教教育と近來問題になつてゐる修身教育」といつた方向に及んでいつた。諸君の真剣な態度によつて私の持説も誘ひ出されてくるといつた具合で、保育の方法に関する研究の場合よりも、話が深くなつていつた。もつとほんとうに言えば、諸君の問いつた方がいゝ。

或る日の保育応答研究会

倉橋生

によつて、私自身が考えさせられていくといつた方がいゝ。

この強雨の日集られた方は、中野を始め、大宮、浦和、横浜と、いわば、友あり遠くから來られた人。時のうつるを忘れた。有り難いことである。

秋の保育應答研究会

一、九月二十日。十月十八日。

十一月十五日。十二月二十日

(いづれも第三土曜日)(午後一時半)

一、会場、フレール館講堂。

來会随意。会費不要。

一、講師、倉橋惣三先生

フレール館内

保育應答研究会係

幼児の教育 第五卷 第九号

昭和二十七年九月二十日發行

臨時定價 金七拾円

編輯兼 倉橋惣三

發行所 日本幼稚園協會

東京都文京区大塚町三十五

お茶の水女子大学附屬幼稚園内

發行所 日本幼稚園協會

印刷所 凸版印刷株式會社

東京都千代田区神田神保町二ノ四

発売所 株式會社 フレール館

振替東京一九六四〇番

〇本誌御購讀について注文申込その他はすべて發賣所フレール館宛に願います。